

Q6 幼稚園におけるキャリア教育は、どのように考えるとよいですか。

1 幼稚園教育でねらいとしている心情、意欲、態度を培います。

幼稚園で培われる心情、意欲、態度が、キャリア発達にかかわる諸能力の育成へつながっていることを理解し、保育の充実を図ることが大切です。

心情

○人間形成の基礎となる豊かな心情（人への愛情や信頼感、自然や身近な事象に対する豊かな心情及び思考力の芽生え 豊かな感性 道徳性の芽生え 等）

意欲

○物事に自分からかかわろうとする意欲（自然などの身近な事象への興味や関心及び積極的にかかわろうとする意欲、言葉への興味や関心、豊かに表現しようとする意欲 等）

態度

○健全な生活を営むために必要な態度（基本的な生活習慣・態度、自立と協同の態度、話したり、聞いたりする態度 等）

2 キャリア教育につながる幼児の姿を意識して、保育の改善を図ります。

自己の役割を理解したり、自分で考え自分で行動したりする幼児の育成を意識した期別の指導計画を改善するとともに、自分のしたい遊びを自分で選んで遊ぶ幼児の姿を意識した週案・日案を工夫することが大切です。

○期別の指導計画例（2年保育 5歳児）

期		Ⅱ		期
月		6		7
主題		体を動かして遊ぼう		夏の遊びを楽しもう
5月までの実態		<ul style="list-style-type: none"> ○カー杯体を動かしたり、ルールのある遊びを友達と一緒に取り組み、つながりを深めようとしている。 ○水や砂を使った遊びや全身での水遊びを楽しみ、いろいろな道具や素材を工夫して使い、遊びを広げようとしている。 		
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな運動遊びに精一杯取り組み、友達と一緒にやり遂げようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水や砂を使った遊びや全身での水遊びを楽しみ、いろいろなものや道具を試したり工夫したりする。 	
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な遊びの中で十分に体を動かす。 		
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に頑張る気持ちをもったり応援する気持ちをもつ。 		
	環境	<ul style="list-style-type: none"> ・共同の遊具や用具を大切に、安全に使う。 		
	言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達の話を注意して聞く。 		
表現		<ul style="list-style-type: none"> ・曲に合わせてリズムカルな動きを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の行事等を通して、歌ったり作ったりする。 	
キャリア教育につながる幼児の姿		自己の役割を理解する。		自分で考え自分で行動する。

○週案（7月第4週）

キャリア教育
につながる
幼児の姿

自分のしたい
遊びを自分で
選んで遊ぶ。



第 4 週	○ねらい：いろいろなものや道具を工夫しながら、水遊びを楽しむ。 ○内 容：身近なものや遊具に興味をもってかかわり、友だちと考えたり、自分でやりたい遊びを試したりしながら楽しんで取り組む。	
	環境の構成のポイント	予想される幼児の活動
	<ul style="list-style-type: none"> 塩ビ管（縦割りにし、といとして使用）をつなぎ合わせることができるよう、数本用意しておく。 といに傾斜を付けることができるよう、支える台や吊す針金等を用意しておく。 といの中をいろいろなものが流せるよう、材料や用具を用意し、幼児の要求に応じて出せるようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 塩ビ管を組み合わせて、長い水の流れを作ったり、逆に流れないようにしたりする。 台で組み合わせた塩ビ管を支えたり、針金で吊したりして、傾斜をつけ、急な水流れを作る。 塩ビ管のといの中をいろいろなものを流したり、流れてきたものをキャッチするなどして遊ぶ。

○日案（7月25日の指導と記録）

日常生活で経験している流し
そうめんや滑り
台での遊びを生
かした遊びをし
ている。

落ちてくる水を
滝やシャワーに
見立てた遊びを
している。

濡れてしまった
服から、洗濯遊
びを思い付き、
ロープに干すこ
ろまで行って
いる。

○ねらい：自分たちで作った水の滑り台で、イメージを膨らませながら、試したり工夫したりして遊ぶ。 ○内 容：日常生活や経験と関連した遊具に進んでかかわり、試しながら遊びを楽しむ。	
予想される活動（ <input type="checkbox"/> 内は実際の幼児の動き）	実際の援助
<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものを流して遊ぶ。 流しそうめんに見立てたすずらんテープを細く裂いたものを流す幼児や自分の代わりに人形を滑らせる幼児がいた。 流れてきたものをキャッチして遊ぶ。 箸ですずらんテープの流しそうめんをすくう幼児や勢いよく流れてくるボールを競争してキャッチする幼児がいた。 流れてくる水の下で、滝遊びやシャワー遊びをする。 落ちてくる水を見立てて、その水に打たれる幼児やたくさんの穴の空いたペットボトルを水の出る先に付け、シャワーに見立てて遊ぶ幼児がいた。 滝遊びでは、服を着たまま水に打たれる幼児がおり、このまま洗濯して干したいと言いだし、他の幼児もまねして洗濯遊びが始まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 流しそうめんを思い付いたことに共感し、いろいろな色のすずらんテープと一緒に細く裂いて流した。 教師も箸やお椀を用意してきて、一緒に流しそうめんをすくおうとした。 テレビで滝に打たれていた修業僧のようにしてみたいという申し出があったので、下着の着用を許可した。 ある程度、滝に打たれる遊びを楽しんだ様子を見て、水の出る先にB男が作った穴の空いたペットボトルを取り付けた。（水がシャワー状に出てきて、自然発生的にシャワー遊びが始まった。） 洗濯遊びが始まったので、洗濯物を干すロープや洗濯バサミを用意した。
記録反省	<ul style="list-style-type: none"> 水を流すことへのイメージを膨らませていたのか、流しそうめんをする幼児や自分で作った紙の舟を流す幼児が出てきて、それらをキャッチする遊びにつながっていった。 B男は、自分が工夫して作った穴の空いたペットボトルが、友達にシャワーとして使用されたことに満足感を覚えていた。 自分が直接滑りたかったという幼児がいたので、7月のねらいの「～全身で水遊びを楽